

ギーを持つ児童に対する把握と対応について再確認します。

また富良野学校給食センターに在籍する栄養教諭の活動予定についてお聞きします。

藤本教育長 食物アレルギーに関しては保護者との実態の把握に努めます。またアレルギー性のある物質については代替えの食事を用意するという形の徹底をしています。

富良野市から年間1～2回程度の栄養教諭を招いて養護教諭と共に指導を行います。

問 新入生に対する対応についてお聞きします。

藤本教育長 就学前健診での医師の情報や保護者等の聞き取りが最優先されると考えています。

2 コミュニティ・スクール

問 今まで行われたコミュニティ・スクールについての調査・研究の結果、総括を示してください。

藤本教育長 コミュニティ・スクールに関しては学校地域支援本部の事業の中で色々な学校でのテーマについて、できる事をやろうということを話し合いました。



学校地域支援事業

3 奨学資金

問 奨学資金の貸付審査の強化で利用しづらくなるのではと危惧しますが。

藤本教育長 奨学資金については未納者を作らないということ、原則に保証人等の内容等を充分見て、貸付にあたっているかと思っています。

山本敬介議員

1 情報モラル教育

問 インターネットにまつわる情報モラル教育は年々問題が大きくなっています。子どもたちの方が、保護者など大人よりも

スキル（操作能力）があるという状況に陥っており、教育長の認識と、今後の対応を伺います。

藤本教育長 情報モラル教育の対象は主に中学校ですが、親に認識がないのが一番恐ろしいところです。保護者を集めての啓発をより一層していかなければならないと考えています。

問 日々進歩するインターネット環境にどういう形で対峙していけばいいのか、地域と親と、子どもたちと共有できるようなガイドラインを、ぜひ作っていただきたいと思いますが、伺います。

藤本教育長 ガイドライン等について、子どもだけではなく親にもPRしていかなければならないと思います。

2 リスクマネジメント

問 昨年も執行方針質疑の中で話していますが、全体を通してリスクマネージメントの視点が少ないと思います。

これまでの議会でも、アレルギー、放射能、いじめ、プール事故、犯罪など度々議論して来ているはずですが、全く網羅されていないと感じます。

学校は安全に学んでもらうということが大前提ですので、行政側がしっかりコントロールしないと、何かあってからでは遅いのではないのでしょうか。伺います。

藤本教育長 執行方針では具体的なことは書いてはいませんが、危機管理のマニュアルは学校には示しています。また薬物に関する指導もしています。いじめ問題についても同様に各子どもたち、教師全員にアンケートをとり実態把握をしています。

今後の執行方針では、そのあたりも見えるような形で提示していきたいと思っています。

3 村に芸術文化を育てるために

育てるために

問 芸術文化を育てて行くには時間がかかります。占冠村は風光明媚な場所ですが、自然には恵まれていますので、感性を育てるには非常に良いのですが、やはり質の高い本物の芸術、例えば絵画や彫刻に触れる機会は少ないと思います。これは子どもだけではなくて、大人も同じです。アスペン市には、町中のそこそこいろいろな彫刻があります。姉妹都市から学ぶという意

味でも、今後教育行政としての意向を伺います。

藤本教育長 本物の芸術文化に触れる事業としては、ミニコンサートを現在も保育所、小学生、中学生を対象に年に1、2回、音楽、舞台芸術を含めた中で行っています。

また、昨年度初めての取組みだったのですが、旭川市の美術館から絵画持参の出前講座を占冠中学校で行いました。

今後は、一般の方も対象にしたものもできないのか調べたいと思います。



美術館からの出前授業